

# SDGsアクター

## 資格認定制度の概要

(NPO)環境自治体会議環境政策研究所

芝浦工業大学

中口毅博

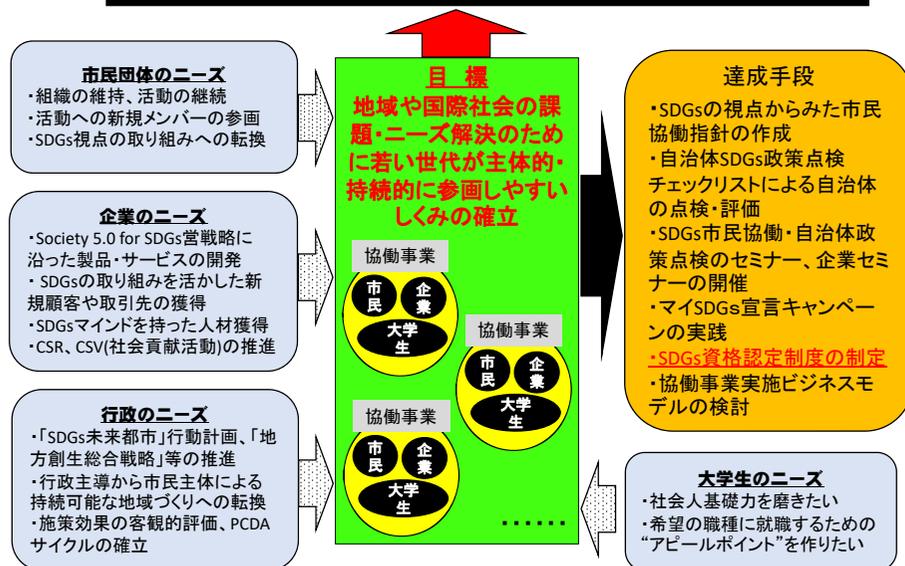
## 資格認定制度設立の背景と目的

- SDGsアクターとは：
  - 地域や国際社会の課題・ニーズ解決のために活動している者に与えられる資格
- SDGsアクター資格認定制度の目的
  - これにより、次世代の主体的・持続的に参画・協働する社会を実現し、SDGsの達成を目指す

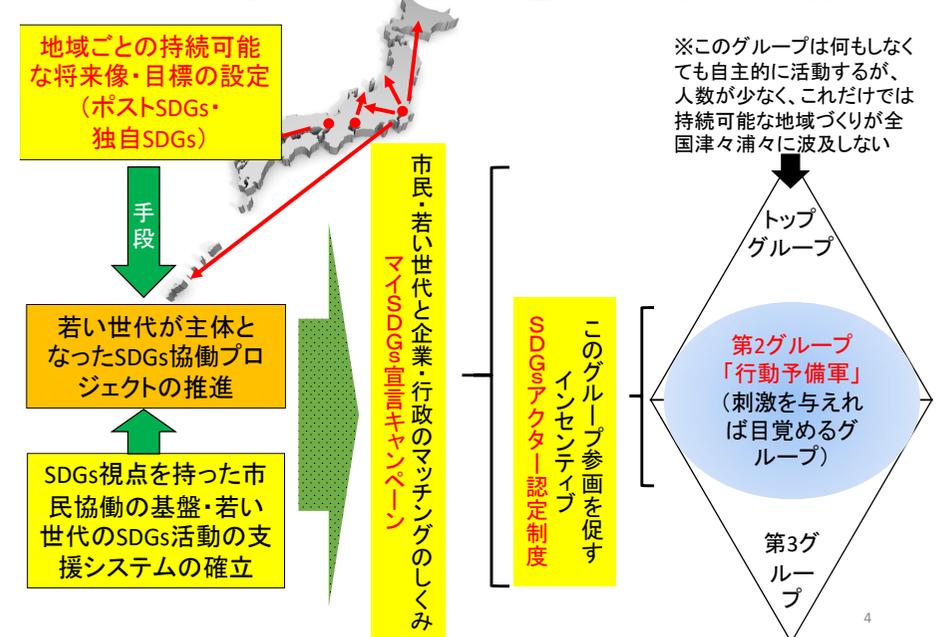
- **市民の課題・ニーズ**：組織の維持、活動の継続、活動への新規メンバーの参画、SDGs視点の取り組みへの転換
- **企業の課題・ニーズ**：Society 5.0 for SDGs営戦略に沿った製品・サービスの開発、SDGsの取り組みを活かした新規顧客や取引先の獲得、SDGsマインドを持った人材獲得、CSR、CSV(社会貢献活動)の推進
- **行政の課題・ニーズ**：「SDGs未来都市」行動計画、「地方創生総合戦略」等の推進、行政主導から市民主体による持続可能な地域づくりへの転換、施策効果の客観的評価、PCDAサイクルの確立
- **学生のニーズ**：社会人基礎力を磨きたい、希望の職種に就職するための“アピールポイント”を作りたい

## 目指す社会の全体像

次世代がSDGs達成に主体的・持続的に参画・協働する社会を実現

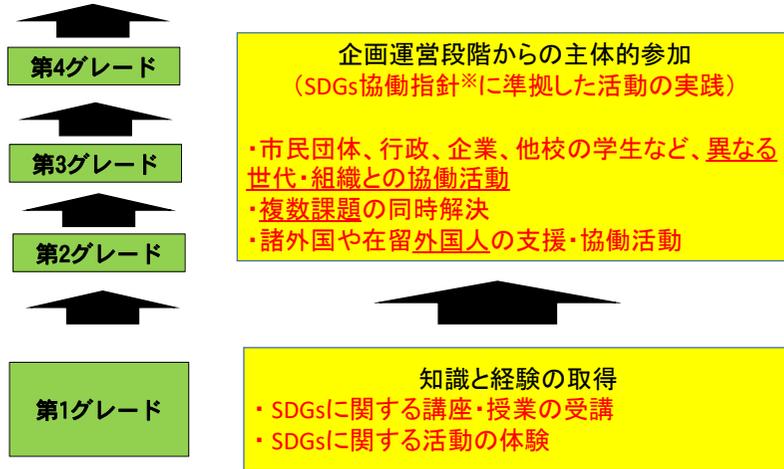


## 次世代の参画による地域課題解決に向けての論点



## SDGsアクター資格の基本構成

2019年度は第1グレードのみ仮認定する

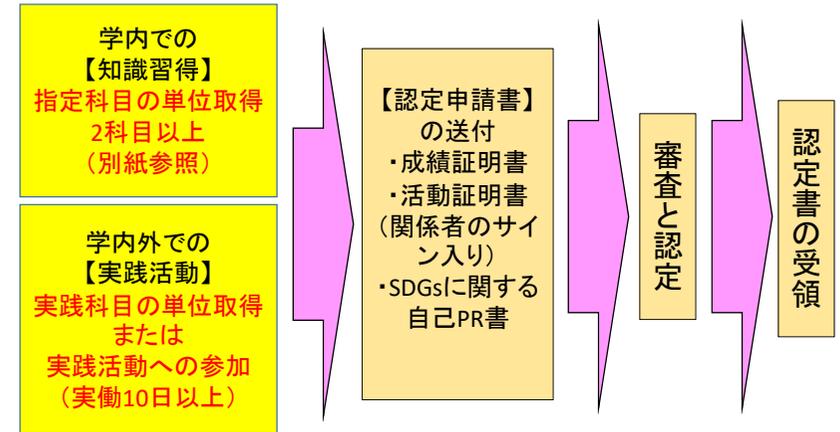


※(社)SDGs市民社会ネットワークを中心に検討

5

## 第1グレードの認定の流れ(大学生)

年度末に要件を満たした学生が申請し、複数の大学の教員やNGOなどからなる審査会で審査され、認定される



6

## 2019年度試行実験結果

- 3月7日申請〆切、3月16日審査会を実施。芝浦工業大学(埼玉県)45名、仁愛大学(福井県)から10名の計55名が合格した。
- 審査会メンバーは7名(大学教員4名、NGOスタッフ3名)
- 発行主体は環境自治体会議環境政策研究所サステナビリティ人材開発センター(次年度からは(社)サステナビリティ人材開発機構)
- 希望者はホームページで氏名や活動内容・自己PR等を公開予定

**SDGsアクター第1グレードに55名が合格しました**

SDGsアクターとは、地域や国際社会の課題・ニーズ解決のために活動している者に与えられる資格です。資格要件を満たした学生が申請し、複数の大学の教員やNGOなどからなる審査会が3月16日に開かれ、55名が認定されました。

**合格者の所属・氏名は、以下のとおりです(匿名希望者を除く)。**

XXXX、XXXX、XXXX (以上、芝浦工業大学)

XXXX、XXXX、XXXX (以上、仁愛大学)

**合格者が取得した授業科目(例)**

環境マネジメントシステム論、人間と環境Ⅰ、都市計画基礎、基礎演習、コミュニケーション特別演習Ⅰa、コミュニケーション特別演習Ⅰb

**合格者の活動内容(例)**

- ・雑木林の維持管理の一環で、自然観察さいたまフレンドの方々と下草刈り体験を行った。
- ・地域の子供たちに環境教育の一環として校内の森でドングリ探しを行ったのち、ドングリでトトロの置物づくりを体験してもらった。

**【登録企業のみ】**

[合格者の活動内容・自己PRの閲覧\(パスワードが必要です\)](#)

7

## 第1グレード合格後の流れ

- 第1グレード合格者には認定書と缶バッジを送る
- 第2グレード以上を目指すには、協働プロジェクトを主体的に実施することが必要。
- そのための支援策として、情報提供やNPO・行政・企業とのマッチングを積極的に行っていく



8